
パットの供述

江渡捨文

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
パットの供述

【Nコード】
N1754M

【作者名】
江渡捨文

【あらすじ】
パット少年が供述したその内容とは。

（前書き）

短編三作目。

今回は変則的な（反則的な？）内容になってしまいましたが、ご勘弁を。

僕は夜空を見上げるのが大好きなんだ。

キラキラと光る星を見ているとなんだか心がウキウキする。

でも今は、前よりももっと好きだ。

だってあの空の星は友達の故郷だから。

友達と出会ったのは1週間前だった。

最初は変なやつだと思った。

身長は僕と同じぐらいだけど、すごく細いし、変な服を着てるし、

目がすごく大きかったから。

でもすぐに仲良しになれた。

友達は喋らなかつたけど、なぜか言っていることがわかった。

友達は僕に頼みごとをした。

僕は友達に頼まれたとおりにした。だって友達だから。

そんなに難しくなかった。まずはパパとママを殺した。次に妹。

友達は喜んでくれたけど、まだ足りないって言った。

だからジェシーおばさんと、ヨシユアおじさんも殺した。

ジェシーおばさんはちよつと大変だったけど、包丁でいっぱい刺し

たら動かなくなった。

そしたら友達はまだ足りないって言うんだ。

欲張りだよ。でも友達の頼みは聞かなくちゃ。

だから学校に行った。学校ならいっぱい殺せると思ったから。

でも二人しか殺せなかつたよ。邪魔されちゃった。

きつと友達は怒ってる。僕が頼みごとをちゃんとやれなかつたから。

きつと怒ってる。友達は怒って、僕とみんなを殺しちゃうんだ。

なお、小学校での事件が起きる一週間前、『空飛ぶ円盤』を見たという通報が多数寄せられた。パット少年の供述によると彼が『友達』

と出会った日であるが、事件との関連性は不明。

ジェイムス・ウィルソン保安官補佐

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1754m/>

パットの供述

2010年10月12日16時49分発行